

岩手県立児童館「いわて子どもの森」の運営改善に関する
第2回サウンディング型市場調査実施要領

令和7年10月

岩手県

1 現状と課題

岩手県では、こどもたちが、自然の中でのびのびと自由に遊ぶことができ、また、友達や家族、自然とのふれあい体験ができる場を提供するとともに、遊びの指導者の育成、研修を行うなど、障がい児を含めた県下の児童健全育成活動を支援する中核的な施設として、岩手県一戸町奥中山地区に県立の大型児童館「いわて子どもの森」を平成15年に整備し、運営しているところです。

本施設は、コロナ発生前は年間20万人以上の来館者がいましたが、現在は16万人程度となっており、来館者数が伸び悩んでいます。本施設への交通アクセスを踏まえると、こどもたちが来館するためには保護者である大人と一緒に来館する必要があります。今後來館者数の増加を図るためにはこどもたちだけではなく、保護者である大人にも行ってみたいと感じられる施設になる必要があります。

また、開館から22年経過し、施設の老朽化も進んでおり、これまでも大規模修繕等を実施していますが、今後も施設修繕費の増加が見込まれていることや本県では全国を上回るペースで人口減少と少子高齢化が進んでおり、将来的な税収の減少、社会保障関係費等の増加など厳しい財政状況が続くものと見込んでおり、引き続き本施設を維持していくために持続可能な管理運営が求められています。

2 調査の目的

今後もこどもたち一人ひとりの自主性と主体性を尊重し、「楽しさ」、「感動」、「発見」を体験できる場として「いわて子どもの森」を維持していくため、「施設の魅力化」と「持続可能な公共施設」という視点で民間活力導入の可能性を検証することを目的としてサウンディング調査を実施するものです。

3 持続可能で魅力ある公共施設モデル構築プロジェクト

本サウンディング調査は、岩手県が行う「持続可能で魅力ある公共施設モデル構築プロジェクト」の一環として行うものです。

本プロジェクトは、複雑・多様化する利用者のニーズに対応した高水準のサービスを提供しつつ、利用者の増加やサービス水準に応じた適切な料金設定等を行い運営に必要な収入も確保する、「持続可能で魅力ある公共施設」の管理運営モデル構築を行うことを目的とし、「社会的目的適合性（与えられた社会目的は何か、社会目的を果たすために必要な機能は何か）」及び「経済的持続性（機能を維持するに当たっての経済的持続性は確保されているか）」の観点から、定量的な成果指標を設定し望ましい管理運営を検討するものです。

なお、本プロジェクトの構成所属は、以下のとおりです。

総務部：財政課、行政経営推進課

保健福祉部：子ども子育て支援室

4 いわて子どもの森

（1）コンセプト

「おとなもこどもも のんびり ゆっくり ぼけ一っとうしようよ」をテーマに、こども自身が遊び体験を通して、見て、聞いて、触れて、感じるなかで、驚きや発見、多彩な出会いをはぐくむ体験型の大型児童館です。

(2) 施設概要

いわて子どもの森の概要（詳細は別添資料のとおり）

所 在 地	岩手県二戸郡一戸町奥中山字西田子
開設年月日	平成15年5月5日
敷地面積等	敷地面積：309,457㎡ 建物面積：4,174.76㎡ 延べ床面積：6,861.32㎡
建 物 構 造	① 管理研修等（2,837㎡）鉄筋コンクリート地上4階地下1階 ② 遊び創作塔（2,959㎡）鉄筋コンクリート地上3階地下1階 ③ 宿泊棟（517㎡）木造平屋
機能・役割	「いわて子どもの森」は、小型児童館及び児童センター機能に加えて、都道府県内の小型児童館、児童センター及びその他の児童館（以下「県内児童館」という。）の指導及び連絡調整等の役割を果たす中枢的機能を有する「A型児童館」です。

5 基本構想

(1) 基本方針

- ① コンセプトの通り、「おとなもこどもも のんびり ゆっくり ぽけっとしようよ」をテーマに、こども自身が遊び体験を通して、見て、聞いて、触れて、感じるなかで、驚きや発見、多彩な出会いをはぐくむ体験機能を有する施設であること。
- ② こどもが施設利用の中で、成長に応じた新たな体験・気づきがあり、魅力に感じてもらえる施設であること。このため、施設整備具体化にあたっては、未就学児、小学校低学年、小学校高学年を主ターゲットとした意見聴取行い(※)ニーズを把握したものにすること。
※こどもの声の反映がこども基本法に規定されている観点からも遵守が必要
- ③ 施設のメイン利用層からの卒業が想定される中高生世代のこどもたちにおいても、継続して接点を持って、当該世代のこどもの成長にも寄与できる施設であること。

(2) 必要な機能について

基本方針を踏まえ、施設を通して以下の機能を利用者に提供する。

- ① 感性を刺激する「体験・遊び機能」
 - ✓ こどもが主体的に「見て、聞いて、触れて、感じる」を体験できる遊び空間機能
- ② 年齢別に対応した「成長支援機能」
 - ✓ 年齢ごとの興味関心や成長段階に応じ、経年で来訪のたびに新しい「気づき」「驚き」「発見」が伴うような体験・仕掛け・演出機能
- ③ 交流促進機能

- ✓ 親子、こども同士が施設の共同体験等を通じて接点を持ち、絆・コミュニケーションを深められる交流促進機能。

④ のんびり・ぼけ一ੱとできる環境

- ✓ 大人もこどもものんびりぼけ一ੱとできる環境及び空間機能

(3) 既存エリアの現状について

既存の各エリアの現状は、以下のとおりです。

① 各施設共通（施設利用料の状況）

- ・当館へは、IGR奥中山高原駅から5km（車で10分）、盛岡方面からは滝沢ICから国道4号線経由で40km（車で55分）、二戸方面からは一戸ICから国道4号線経由で28km（車で40分）でお越しいただけます。
- ・当館へバスでお越しいただく場合、IGRいわて銀河鉄道奥中山高原駅からいわて子どもの森行きの路線バスが岩手県北バスにより1日4往復（平日は3往復）運行されています。
- ・上記交通アクセスを踏まえると、こどもたちが来館するには、大人による送迎等が必要となっていることからこどもだけではなく大人にも魅力が伝わるようなコンテンツのアップデートが必要と捉えています。
- ・現在の施設利用料は一部施設等を除き、無料です。
- ・有料の施設等は、変わり種自転車、まんてんハウス、キャンプ場となっています。

② 中遊び（ゴーゴーハウス内の施設）

- ・子ども向けに例年実施している満足度アンケート（複数回答可）でこどもたちが「楽しかったもの」として答えているのは、のっぴいです。
- ・中遊びの施設は、未就学児～小学校高学年までを対象としていますが、小学校高学年が遊ぶ場所が物足りないという利用者からの声があります。

③ 外遊び（みずの広場、ひみつの森ほか）

- ・外遊びの中で例年みずの広場が一番人気施設になっています。
- ・その他外遊びとして、アスレチック、変わり種自転車、ローラーローラー、ひみつの森・小道やもりもりとりでを整備しています。
- ・冬季期間の外遊びは、わくわくスノーランドやわくわくスノーランドプレーパークがあります。

④ 飲食・物販（ハラヘッタ亭もぐもぐ、キッズショップ風の谷）

- ・レストラン・物販は、現在、指定管理に含まれておらず、行政財産使用許可を受けた地元事業者が運営しています。

⑤ 宿泊（まんてんハウス）、キャンプ場

- ・まんてんハウスの稼働率は、8月が76%ですが、年間の稼働率（R6年度）は25.1%です。

- ・キャンプ場の利用可能期間は6月～11月上旬までとなっており、年間の稼働率（R6年度）は4.3%です。

※ それぞれの室数・サイト数、利用実績等の詳細は、別添資料のとおり。

- ・児童館のため、飲酒は禁止しています。

6 実施方法

個別方式で対面又はWEBにて行います。（回数：1回～複数回）

7 主な調査項目

- ・事業者提案のコンセプトやターゲットについて
- ・事業期間の妥当性（もしくは提案）について
- ・機能や魅力化方向性を充足する事業の提案について
- ・上記提案業務効果想定について
- ・投資規模、見合いの収入確保策について
- ・行政に配慮してほしい事項について
- ・そのほか自由提案・意見 等

8 サウンディングにおける与条件

- ・当館の立地や交通アクセスの現状を踏まえると、子どもだけで来館することが難しいことから子どもが行きたいと思える施設であることの他、保護者である大人にも魅力的な施設と思ってもらえるような施設にしていく必要があります。現状を踏まえ、未就学児から小学校高学年が楽しめる中遊びの充実、外遊び体験の遊び満足度向上、宿泊関連施設（キャンプ場含む）の稼働率向上及び保護者である大人の満足度向上などにつながる遊具等の整備や取組内容の充実など、施設の魅力向上が図られる施策を提案していただきたいと考えております。
- ・提案は、ハード整備^{※1}を想定していますが、ハード整備とソフト事業^{※2}を組み合わせた施策の提案も可とします。本事業は、投資規模に見合った収入の確保（新たに利用料金を設定するなど）により、一定期間で採算が図られるものを前提としています。提案内容による来館者数の見込み（ソフト事業による場合は、設定する利用料金の規模・収入の見込み等）を記載の上、実現可能と見込まれる施策をご提案願います。なお、ソフト事業の提案においては、こどもの森が児童厚生施設の大型児童館であるということを考慮願います。

※1 ハード整備は、新築・増築を伴わない内装リニューアル、空間演出等又は遊具設置を想定しています。

※2 ソフト事業は、人が活動することにより実施するサービス提供やイベント開催等の事業を想定しています。

- ・令和6年度来館者数に比して30%程度の増を可能とするための施策をご提案願います。また、本施設は5月から10月に稼働が集中していることから、11月～4月の来館者数の増加を図り、来館者数の平準化が見込まれるような提案を検討願います。（来館者数については、別添資料を参照願います。）

- ・本サウンディングにおける提案において、施設の管理運営は、指定管理による運営（現行の管理運営）を前提としてください。なお、指定管理期間は、概ね3～5年以内の想定としてください。ただし、既存施設は指定管理による運営とし、自主事業として新たに整備等を行った施設等の運営を自主運営するというような提案も認めます。その場合は、指定管理期間は適切と考える期間をあわせて提案願います。
- ・ハード整備については、概ね1年程度で整備可能なものとし、県が整備することを想定した提案とします。
- ・こどもの声（意見）を反映させることができる施策を提案願います。

9 サウンディング実施スケジュール

内 容	日 程
実施要領の公表	令和7年10月29日（水）
参加申込期間	令和7年10月29日（水）～12月9日（火）
現地説明会参加申込期限	令和7年10月29日（水）～11月10日（月）
現地説明会	令和7年11月12日（水） 実施場所 いわて子どもの森
事前質問の受付	令和7年10月31日（金）～11月20日（木）
事前質問への回答	令和7年11月28日（金）予定 ※県HPで公表を予定
サウンディング調査の実施	令和7年12月15日（月）～12月19日（金） 実施場所 岩手県庁又はWEB
サウンディング調査結果の公表	令和8年2月下旬

※ 現地説明会については、対応できない場合もありますが、別日程での参加を希望する場合は御相談ください。

10 サウンディング調査実施の流れ

（１） 現地説明会参加申込み

参加を希望する場合は、現地説明会参加申込書（別紙様式1）に必要事項を記入の上、令和7年11月10日（月）までに下記メールアドレスに提出してください。

【提出先：岩手県保健福祉部子ども子育て支援室宛て AD0007-4@pref.iwate.jp】

（２） サウンディング参加申込み

参加を希望する場合は、サウンディング調査参加申込書（別紙様式2）及び個別対話調査ポイント（別紙様式3）を令和7年12月9日（火）までに下記メールアドレスに提出してください。

【提出先：岩手県保健福祉部子ども子育て支援室宛て AD0007-4@pref.iwate.jp】

（３） 事前質問等の受付

事前質問がある場合は、事前質問シート（別紙様式4）を令和7年11月20日（木）までに提出してください。

事前質問への回答は県HPで令和7年11月28日（金）を予定しています。

質問内容によっては、回答できない場合もありますので、あらかじめ御了承ください。

（４）その他

サウンディング調査結果は、県HP上に令和8年2月下旬の公表を予定しております。

11 サウンディング調査から事業者選定までのスケジュール（予定）

年度	内容	指定管理 期間
R7	サウンディング調査	第6期
R7	サウンディング調査結果を踏まえた運営手法・施設整備等の検討	
R8～R9	基本設計、詳細設計、工事施工（施設整備が伴う場合）	
R10	第7期指定管理期間開始	第7期

12 留意事項

（１）参加の取り扱い

ア サウンディング調査への参加は今後の事業者選定評価等に影響を与えることはありません。

イ サウンディング調査に不参加の場合も、今後の発注の際には参加できます。

ウ サウンディング調査の内容は、今後の検討の参考にさせていただきます。ただし、双方の発言は、サウンディング調査時点での想定のものとし、何ら約束するものではないことを御了承ください。

（２）費用負担

サウンディング調査の参加に要する書類作成・提出等の全ての費用は参加者負担とします。

（３）提出書類の取扱

ア 提出書類の著作権はそれぞれの参加者に帰属します。

イ 事業検討以外の目的で提出書類等を使用しません。

13 問合せ先

岩手県保健福祉部子ども子育て支援室子ども家庭担当

電話：019-629-5463

メール：AD0007-4@pref.iwate.jp

様式 1

現地説明会参加申込書

事業者名 (グループ名)				
構成事業者名 ※グループの場合				
所在地 (代表者所在地)	〒 ー			
連絡担当者	氏名 (姓と名の間に全角スペース)			
	所属事業者名・部署			
	E - Mail			
	電話番号			
	緊急連絡先 (現地説明会当日用)			
現地説明会 参加予定者 (3名まで)	所属事業者名	部署	役職	氏名

【提出先】

岩手県保健福祉部子ども子育て支援室

メール：AD0007-4@pref.iwate.jp

様式2

サウンディング調査参加申込書

事業者名 (グループ名)				
構成事業者名 ※グループの場合				
所在地 (代表者所在地)	〒 ー			
連絡担当者	氏名 (姓と名の間に全角スペース)			
	所属事業者名・部署			
	E - Mail			
	電話番号			
	緊急連絡先 (サウンディング当日用)			
サウンディング 参加予定者 (3名まで)	所属事業者名	部署	役職	氏名

【提出先】

岩手県保健福祉部子ども子育て支援室

メール：AD0007-4@pref.iwate.jp

様式3

個別対話調査ポイント

法人名：_____

【提出先】

岩手県保健福祉部子ども子育て支援室

メール：AD0007-4@pref.iwate.jp

①当施設について
当施設の強みや弱みをどのように認識していますか。
(必要に応じて枚数を増やしてください。文字だけではなく、図や絵などで示していただいても結構です。)

様式3

②事業提案について
提案について、下記を踏まえ記載してください ・コンセプトやターゲットについて ・事業期間の妥当性（若しくは提案）について ・現在の施設機能を充足する事業について ・上記提案業務効果の想定について
（必要に応じて枚数を増やしてください。文字だけではなく、図や絵などで示していただいても結構です。）

様式3

③ 投資規模・投資規模見合いの収入確保策について

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・②の提案の投資規模について、記載してください。【共通】・ソフト事業による提案が含まれる場合は、投資規模見合いの収入確保策について記載してください |
|--|

（必要に応じて枚数を増やしてください。文字だけではなく、図や絵などで示していただいても結構です。）
--

様式3

④行政に配慮してほしい事項について
②提案にあたり、行政に配慮してほしい事項について、記載してください。
(必要に応じて枚数を増やしてください。文字だけではなく、図や絵などで示していただいても結構です。)

様式3

⑤その他提案について
その他、当館の魅力向上に寄与する提案があれば記載してください。
(必要に応じて枚数を増やしてください。文字だけではなく、図や絵などで示していただいても結構です。)

様式4

事前質問票

事業者名 (グループ名)		
構成事業者名 ※グループの場合		
所在地 (代表者所在地)	〒 ー	
連絡担当者	氏名 (姓と名の間に全角スペース)	
	所属事業者名・部署	
	E - Mail	
	電話番号	
No.	質問内容	
1		
2		
3		
4		

【提出先】

岩手県保健福祉部子ども子育て支援室

メール：AD0007-4@pref.iwate.jp